



# とびら



中能登中学校 学校祭 10月21日

## 【主な内容】

予算決算常任委員会 始動  
決算の審査をおこなう

# 始動

## 予算決算常任委員会

— 予算の審査をより深く —

当議会では、平成30年7月の議会組織改選により新たに予算決算常任委員会を設けました。これにより、当初予算、補正予算、決算における一連の予算関係の審査がより深く行われるものと確信しております。そのような中、9月定例会議にて決算認定にかかる審議を行いました。

毎年言われておりますように、人口減少や税の減収そして、今後見込まれる地方交付税の減額等がある中、いかにして中能登町を創生していく事業を行うか、また、その事業の確実な実行が重要であると考えます。

健全で安定した財政運営を図ることは言うまでもなく、未来の中能登町のため実行性のある事業の積み重ねを行うためにも、決算審査後における事業効果の検証と事業継続の判断を慎重に行い、当初予算につなげていくよう町に求めました。

9月定例会議最終日には決算にかかる議案である認定8件と議案1件を全会一致で認定・可決しました。

### 決算に対する報告書を提出

9月定例会議最終日に提出



左から杉本町長 宮下議長 作間予算決算常任委員会委員長 土本副委員長

現地を確認

#### ①七尾鹿島消防本部高機能消防指令システム整備更新 総事業費3億7625万5千円

平成18年度に導入したシステムの老朽化に伴う更新事業であると七尾鹿島消防本部で説明を受けました。今回の事業では、聴覚や言語に障害のある方などが携帯電話等のWeb機能を利用して火災や緊急などの119番通報できるシステム（ネット119）を導入したこと、また消防本部・ラピア鹿島に設置した高所カメラによって火災等の早期発見が可能となりました。



#### ②ラピア鹿島アイリスホール舞台照明設備改修工事 総事業費9709万2千円

ラピア鹿島は、建設後23年が経過していることから、アイリスホール舞台設備の更新とLED化の改修を行ったとの説明を受けました。これにより全体的に、長寿命化や省エネルギー対策に対応した設備となりました。



### 予算決算常任委員会報告書を受け、全体指摘事項に対する町からの回答

今後も人口減少による町税の減収や地方交付税の減額を見据え、滞納整理などを計画的に行い、自主財源の確保に努めると共に、既存事業の取捨選択、計画的な財政運営を実施します。

また、財政の健全化、庁舎統合に向けた適正な組織編制や人員配置の見直し、公共施設の統廃合を図るなど、時代に即した効率的な行政運営に努めるとともに、事業に関しては、適切な成果が得られるよう検証しながら予算編成を行います。

# 29年度決算

#### 一般会計

歳入	
町税	16億9029万円
国からの交付金	60億2789万円
県からの交付金	14億7883万円
その他収入	11億4292万円
町債	9億 231万円
合計	112億4224万円

歳出	
議会費	1億 632万円
総務費	11億3220万円
民生・衛生費	32億8789万円
労働・商工費	1億1453万円
農林・土木費	29億1048万円
消防費	3億6447万円
教育費	13億 451万円
その他	18億1410万円
合計	110億3450万円

#### 特別会計

特別会計	歳入	歳出
後期高齢者医療	2億3248万円	2億3221万円
介護保険	22億 384万円	22億 372万円
国民健康保険	23億3028万円	23億2937万円
下水道事業	16億6761万円	16億6754万円
分譲宅地造成事業	5991万円	5991万円
ケーブルテレビ事業	1億1781万円	1億1779万円

水道企業会計	収入	支出
収益的収支	4億3347万円	4億2910万円
資本的収支	3億 936万円	4億3621万円



# 9月定例会議 採決の結果

提出された議案に対して、議員が賛成・反対の意思をあらわして、議案成立の可否が決定します。



## 全議員が賛成して可決された主な議案 (議長は、採決には加わりません。)

結果	町長提出議案
可決	議案第17号 中能登町分譲宅地造成事業特別会計補正予算について <b>内容</b> ▶ 財産収入で3227万6千円を増額するもので、昨年度から造成した徳前・能登部上・春木地区の15区画のうち12区画の販売が完了したことによるもの。
可決	議案第22号 中能登町水道事業会計欠損金の処理について <b>内容</b> ▶ 平成29年度中能登町水道事業会計の収益的収支において純損失が生じたことにより、前年度繰越利益剰余金で補填してもなお繰越欠損金が生じることから、建設改良積立金を取り崩して欠損金を補填する処理を行うもの。当年度未処理欠損金は236万9984円となっている。
同意	同意第3号 副町長の選任について <b>内容</b> ▶ 副町長として、廣瀬康雄氏を最適者として引き続き任命するにあたり、議会の同意を求めるもの。任期は、平成30年10月1日から4年間。

結果	議会提出議案
可決	議員派遣の件
可決	「乳幼児(子ども)医療費助成制度」についての意見書

## 付託された常任委員会での「陳情」の採択結果

陳情	付託委員会採択結果
陳情者：公益社団法人 石川県柔道整復師会 「乳幼児(子ども)医療費助成制度」についての陳情書	教育民生常任委員会 採 択

## 石川北部アール・ディ・エフ広域処理組合議会からの報告

坂井幸雄議員からの報告 平成30年8月22日 組合議会定例会  
 平成29年度一般会計歳入歳出決算認定議案  
 歳入 14億 51万6994円  
 歳出 12億5684万1008円 差引額 1億4367万5986円 決算剰余となる。  
 —主な歳出内容—  
 ・専焼炉運転業務委託料 5億2265万9千円(受託者の日立造船(株)に支払った年間委託料)  
 ・公債費 2億3284万2千円(建設費に伴う地方債の償還金(元利))

## 委員からの主な質疑と町からの答弁

### 職員の労務管理



**林委員質疑：**職員の労務管理の内容と、「働き方改革」での29年度の達成事項はなにか。

**総務課答弁：**労務管理は職員の出勤や年休、また、時間外勤務等の管理を行った。達成事項としては、職員の年休取得率がアップした。



### 結婚推進事業



**尾田委員質疑：**相談件数に対する成婚数についてどう考えるか。

**企画課答弁：**29年度の成婚数は3件であり、これは高い数値と考えているが、結婚推進員の高齢化もあり、今後は、結婚推進員の世代交代にも努めていきたい。

### 保育園運営事業



**古玉委員質疑：**保育園のエアコンの設置状況はどうなっているか。

**住民福祉課答弁：**町内の5つの公立保育園の教室と厨房は全室完備しており、遊戯室はさくら保育園のみ設置してある。遊戯室の今後の設置予定は、国等からの指導や補助金の状況をみながら考えたい。



### 巡回補導活動



**中川委員質疑：**巡回補導活動で巡回補導する方の構成と巡回結果、今後の巡回の在り方についてどう考えているか。

**生涯学習課答弁：**巡回は、七尾警察署から委嘱を受けた補導員、石川県青少年育成推進指導員、中能登町青少年育成センター育成委員などで行っている。平成29年度は特に補導等はなかったが、今後も巡回補導の時間帯や方法などを考慮しながら行っていきたい。

### ジェネリック医薬品差額通知



**土本委員質疑：**ジェネリック医薬品に切り替えをすることによる差額を把握しているのか。

**保健環境課答弁：**ジェネリック医薬品差額通知は、10月と2月に合計908通を送付しており、送付者の全員が切り替えをした場合、約159万円の個人負担が減る計算となる。



# 豪雨災害

28世帯67名が避難

8月31日  
9月10日



町道土砂流出 小田中地内

8月末から9月初めにかけての大雨は、8月31日及び9月10日に中能登町でも集中豪雨をもたらしました。当町では8月31日の豪雨により災害対策本部を設置。避難勧告が発令され、幹線道路の冠水や町道の至るところで、土砂の流出が発生し、二宮川では氾濫危険水位を観測しました。また、自主避難所や町指定避難所が開設され28世帯67名が避難されました。

中能登町議会でも台風21号接近のため9月4日に開催予定であった9月定例会議中の常任委員会を9月5日に延期するなど、対応をとりました。9月定例会議最終日には平成30年度中能登町一般会計補正予算について、8月31日に発生した豪雨災害復旧費用5576万3千円を専決処分したとの報告も受けました。そのほか、9月定例会議では議案17件、同意1件を全会一致で可決しました。

## 健康福祉祭

激励費補助金  
2万円  
増額補正

**Q** 全国健康福祉祭出場激励費補助金2万円の増額補正について詳細な説明を求めます。

**A** 県では「ゆうりんピック」全国では「ねんりんピック」と呼ばれるもので、60歳以上の方が対象となっており、当町からはゴルフに1名、マラソンに1名が出場する。  
(担当課：長寿介護課)



## 農林施策

農地情報システム

**Q** 農地情報システム地図更新作業委託料90万8千円の増額補正について詳細説明を求めます。

**A** 土地改良整備事業実施箇所の地図の更新である。  
(担当課：農林課)

## 管渠工事

鹿西東部  
処理区  
統廃合  
事業

**Q** 構造物基礎杭調査業務委託料100万円の増額補正について詳細な説明を求めます。

**A** 現在、進めている鹿西東部処理区統廃合事業において、管渠工事に支障となる河川の横断ボックスカルバートの基礎杭の位置を確認する業務である。(担当課：上下水道課)

## 庁舎統合建設特別委員会報告

議会の答申結果を受けて町執行部が回答

# ラピア鹿島周辺新築案検討も

庁舎統合建設特別委員会が9月27日、全委員11名と宮下議長出席のもと開かれた。5月22日に議会より提出した答申「ラピア鹿島周辺での新築が妥当」について町執行部の返答を受けることとなった。

杉本町長は、旧鹿西中学校活用を改めて示したうえで、議会側の新築案検討も示唆した。条件として議会側に、庁舎にしない場合の旧鹿西中学校代替活用案の具体的な提示と新庁舎案の設備や予算を含めた具体案を求めた。旧鹿西中学校に固執せず、新築案と旧鹿西中学校の活用案で比較検討を進める考えである。

町執行部側の返答を受けて、作間委員長は、「議会としては年内に方針をまとめ、年度内には結論がでるよう議員も知恵を絞り、いい庁舎を作るため議論を重ねていきたい」と話した。





# 7名の議員が登壇し質問する

## 問 生ごみ処理に取り組み 答 最良の方法を検討したい



土本 稔 議員

【土本】中能登町総合計画には、事業所から排出される生ごみをバイオメタン発酵施設での処理に努め、将来的には、家庭から排出される生ごみ処理にも取り組むとある。取り組み方法について伺う。

【町長】町学校給食センターや保育園、老人福祉施設からの厨芥類を処理している。商工会を通じて飲食店への呼びかけもしている。家庭から排出される厨芥類は、収集方法や集積場の管理なども含め、最良の方法を検討したい。

【土本】生ごみを委託処理すれば、トン当たり7万円。バイオメタン発酵施設



バイオメタン発酵施設

で処理すればトン当たり2万円。町の施設で処理する方が安価であり、将来の財政状況を考え取り組むべきだ。平成34年度末に石川北部RDFが廃止となるため、七尾市と当町で新たな施設を検討していると聞くが、生ごみ処理について考える時だ。机上ではなく地域に向き、生ごみに関する説明会等を行う考えはあるか。

【保健環境課長】循環型社会の推進やごみの減量化により、環境面、財政面での効果がある。現在検討中であり、必要に応じて地元と協議し取り組んでいきたい。

## 問 危険な空き家の対策は 答 総合的かつ計画的に推進したい



南 昭榮 議員

【南】①生活道路に面し、強風により外壁等が崩れそうな危険な空き家が存在するのか。②危険な空き家の所有者に解体等に応じるよう指導しているのか。③解体した所有者に対し、経費を補助する制度はあるのか。

【町長】少子高齢化が進み空き家増に拍車がかかるのではないかと懸念している。対策について、町として総合的かつ計画的に推進していきたい。

【企画課長】①平成29年3月に実施した空き家実態調査において、町に現存する空き家約900棟のうち、約140棟が修理や解体が必要だとの報告を受けている。生活道路等に面した空き家の分析は実施していない。

②所有者に対し固定資産税通知の際、空き家管理は所有者の義務である旨のチラシを発送している。③町では、危険性がある建物を解体するための補助制度はないが、空き家バンクに登録した物件を解体し、新築した場合は解体費の一部補助の制度がある。これは空き家バンクで売買契約が成立した場合が対象で、経費の半額、最大30万円を補助する制度である。

その他の質問▼森林環境譲与税▼イノシシ捕獲駆除後の助成金

## 問 不動滝周辺の整備を進めよ

答 大切な観光資源として護る



中川 秀平 議員

【中川】1000年以上前から石動山からの修験者で賑わってきた「不動滝」。現在は県外からも、「滝にうたれる」ために多くの方が訪れている。多くの方が訪れることは嬉しいことだが、滝への細い山道の整備などで地元の「不動滝を護る会」の負担が大きくなっていく。滝付近の駐車場の拡充や山道の拡幅など、地元負担軽減を図れないか。

ているのではないかと考えている。ただし、山地の所有者確認や境界など、地域の方々の全面的な理解と協力が必要となる。まずは、地域の方々の意見の集約と要望をとりまとめていただきたい。不動滝は町の大切な名勝地であり、特に近年は滝行体験などの体験型観光の要望も高く、不動滝はまさにその要望に適した大切な観光資源であると考えている。

その他の質問▼多文化共生社会

## 問 土砂災害時の避難場所を問う

答 国・県・自治体で検討が必要



坂井 幸雄 議員

【坂井】近年は気象の変化が非常に激しい。豪雨による地域の土砂災害に対応するために、再度、専門家を交えて、土砂災害ハザードマップと避難場所の検討をできないか。

【町長】平成13年4月に土砂災害防止法が施行された。この法律の基本指針に基づき、県が土砂災害の恐れのある渓流や斜面の地形、土地利用状況などの基礎調査を行い、土砂災害警戒区域や特別警戒区域を指定することになっている。このため、現段階では、町独自の新たな土砂災害の区域指定はできないと考える。

【参事兼総務課長】町地域防災計画に位置づけている避難場所は19箇所、災害種別ごとに対応の可否も指定している。災害種別は、洪水、崖崩れ、土石流、地滑り、地震、大規模火災、内水氾濫があり、19箇所中4箇所が土砂災害の避難場所に適さない。今後、見直しをした場合、新たな施設選定などの検討が必要になると考える。



中能登町の宝 不動滝



8月31日 町道にあふれる土砂 (良川地内)

問 滝尾小学校前信号機を名称変更せよ

答 地域の要望に対処したい



諏訪 良一 議員

【諏訪】 県道七尾・鹿島・羽咋線の旧滝尾小学校前の交差点に設置されている信号機には、今日でも「滝尾小学校前」と表記されているが、平成27年3月には閉校となり、すでに校舎の解体作業も始まっている。一方では、不動瀧がバリアフリー観光地としての知名度がアップするにつれて滝への上り口を教えて欲しいとの問い合わせが増えている。名称の変更には、県公安委員会への申請が不可欠であることを考慮すると、絶対のチャンスである。①信号機設置場所名の変更、②名勝地にふさわしいネーミング等、以上2点を聞く。

②旧滝尾小学校前の信号機は、閉校後も改称されずにそのままであり、名称変更の必要性を考えている。町指定名勝地「不動瀧」への上り口にも近いことから、「不動瀧」を名称に加えることがふさわしいのではないかと私も思っている。地域で検討され、要望しているだければ対処したい。

その他の質問▼ジュニアサッカー場の整備化



滝への上り口にある信号機

【町長】 ①信号機の設置場所名の改称は、希望する名称を県公安委員会に要望し、承認されれば変更が可能である。

【町長】 ①乳幼児期から高齢期まで切れ目のない支援が必要であり、正しい情報を広報やホームページ、研修会等で啓発し、障がいのある無に関わらず共に暮らせる町づくりを努める。

【町長】 ③悩んでいる保護者の相談会を保健センターで開催している。また、家族の情報交換の場として、ボランティアが行う「ほっとたいむ」の活動がある。今後、ペアレントメンターとなり活動していただく方がおいでれば、町としても支援する。

その他の質問▼水防災意識社会再構築の推進▼アピアランスケアへの支援

問 機能別消防団員制度を導入せよ

答 町消防団と相談し検討したい



林 真弥 議員

【林】 各消防分団とも若手団員確保に苦慮していると聞く。任務を限定し、主に消防団員OBを任用する機能別消防団員制度の導入をすべきと考えるが、見解を問う。

【町長】 非常時に出動できる団員の減少や高齢化等、消防団の苦慮は認識している。県内でこの制度を導入しているのは11市町で、団員全体に占める割合も約4.5%と徐々に増えている。元消防団員を任用することは、有効だと考えており、消防団と相談しながら検討したい。

化を図るべきだ。

【町長】 現況では早急な導入は必要ないと考えるが、決して分団任せというわけではない。若い意欲のある方がおいでれば、私が直接お願いしたい気持ちだ。

【林】 安全安心に向けた町長の男気とリーダーシップに期待する。

その他の質問▼会計年度任用職員制度



消防操法大会

問 発達障害の家族を支えよ

答 ペアレントメンター支援を行う



笹川 広美 議員

【笹川】 発達障害に対して、①町民への発達障害の特性を理解し、認めるための啓発活動、②教育現場における対応と支援、③家族を支える支援体制、以上3点で答弁を求めます。

り良い支援ができるよう取り組む。

【教育長】 ②その子にあった支援方法で困り感を少なくし、能力を伸ばし、自信に繋がられるようにしている。タブレットの導入、支援員の配置も行い適切な支援に取り組んでいる。放課後デイサービスの相談支援専門員ともケース会議で連携をとっている。今後もよ

議会モニター

議会モニター・澤 良一さんと意見交換会を行いました。これまでの熱心な議会傍聴から、大変貴重なご意見をいただきました。議会では、頂いたご意見を参考に、さらに町民に「開かれた議会」を目指して参ります。

★モニターからのご意見★

◆評価事項

- ①中能登町議会基本条例の制定 ②通年の会期制の制定 ③定例会議の生中継 ④大会議室に傍聴席を設置 ⑤議会広報誌「とびら」の全戸配布

◆改善要望事項

- ①委員会・全員協議会等の原則公開の徹底。②議会日程のHP掲載時期を早め、町民が傍聴しやすくする。③委員会、全員協議会等の録画放送の実施。④議事録の閲覧場所を設定し、町民が気軽に閲覧できるようにする。⑤議員視察研修報告書を全議員が提出し、公開する。⑥傍聴者への資料配布を徹底し、町民への説明責任を果たす。

◆議会・議員は、真に町民主権を実現するため、町民へ町政に関する情報を広く公開し、町民の参画を積極的に進め、町民意見の適時的確な把握に努め、町民の声が町政に反映する運営と活動を切に望みます。



# 突撃インタビュー



今回は教育にご尽力下さっているお二人にお伺いしました。

質問内容

- ① 教員を志した動機は
- ② 30年以上の教員生活で一番大きな出来事や思い出は
- ③ 少子化について思うことはなんですか
- ④ 自身の今後について  
(お二人ともあと2年半で定年を迎える)
- ⑤ 生徒、保護者、地域の方々などに向けて一言！



二人は高校の同級生

左から 林校長 山口校長

## 中能登中学校 校長 林 大智 先生

### 【回答】

- ① 中学生の時の数学の先生との出会いが大きい。それ以来、数学が好きになり数字に関係した仕事(例えば公認会計士や建築士)を希望したが、最終的には数学教師になった。
- ② 中能登中学校の開校に、教頭として携わることができたこと。更には、その開校1年目に色々苦労もあったが、その時の生徒たちが最近、学校に遊びに来てくれることが最高の喜びです。
- ③ 競い合うことが減り、思いやりの心が育まれるのではないかと。今後、更に少子化が進んだとしても単純に学校を減らすべきではない。
- ④ 今までお世話になった中能登町に恩返しの意味も込めて、社会教育や生涯学習などの分野で地域貢献活動をしていきたい。
- ⑤ 自分が住む町に誇りをもとう。

## 石川県立鹿西高等学校 校長 山口 和人 先生

### 【回答】

- ① 自分自身は、おとなしい目立たない生徒だった。自分のような生徒の背中を押してあげたいと思った。もう一つは歴史が好きなので、歴史上の先人を通して生徒が色々なことを学び自分らしさを見つける手助けをしたいと思ったから。
- ② 10年間教員として鹿西高校で教えた後、教育行政に携わっていたので、思いがけず鹿西高校にまた校長として帰って来られたこと。
- ③ 少子化の危機感によって地域や住民の意識や意欲の高まりを感じる。そういった地域と学校との連携の必要性を思う。
- ④ 地域づくりは人づくり。今後は地域の方々との活動を通して地域づくりに貢献していきたい。
- ⑤ 中能登町の皆さんに鹿西高校は地元の高校なのだ、という意識をもっと持っていただきたい。

### ● 中能登町議会の活動に関心がありますか。

ある	自分には関係ない	身近に感じない	よく分からない
69	2	8	26

### ● 中能登町議会の活動は何から知りますか。

議会だより「とびら」	町ホームページ	なかのとチャンネル	新聞	知人友人	議員	その他
54	11	30	17	14	18	5

### ● 中能登町議会にどのような交流を求めますか。

議場見学	報告会	出前講座	気軽な懇談会	その他
35	20	16	50	4

## 町祭 織姫夏ものがたり 議会アンケート結果報告

皆様からいただいた意見を参考に議会の活性化に努めてまいります。アンケートにご協力いただきありがとうございました。



【回収総数は106】



# 教育民生常任委員会

## 伝統的建造物群保存対策事業

能登部・徳丸地区で

「重要伝統的建造物群保存地区」を目指し事業スタート

### 【今後の予定】

- H30年度 現在は対象の家屋などを調査中
- H31年度 保存対策調査報告書刊行
- H32年度 関係条例の整備・制定
- H33年度 保存地区・計画の決定
- H34年度 重伝建地区の選定申出に向け準備

県内には8件の「重要伝統的建造物群保存地区」があるよ。金沢市の「東山ひがし」などあるよ。



### 質問：委員質疑

この事業により当町がどう変わっていくのか。

### 回答：町答弁

重伝建地区となれば全国的に知名度も上がり町の活性化の一助になると考える。



能登部下地内

※伝統的建造物群とは：周囲の景観と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建物群で価値の高いもの。(伝統的：歴史や風土に根付いた風習や産業、技術等を継承してきた時代の流れを包含するもの。)

# 総務建設常任委員会

## 旧丹後邸離れ改修工事

大学教授や建築専門家の意見、どぶろく研究会からの提案を参考に工事内容が決定



旧丹後邸 (枠：離れ部分)



離れの部分を改修



内部

渡り廊下の一部を撤去



内部

現在の押入れを書院造りに復元



和室横の部屋は多目的に使えるフロアに改修。現在の間取りを活かして改修が進められます。

# 議会からのお知らせ

## 12月定例会議の日程

- 12月5日(水) 10:00 定例会議 開会  
〔議案上程・提案理由説明・質疑など〕
- 12月6日(木) 10:00 教育民生常任委員会
- 12月6日(木) 13:30 総務建設常任委員会
- 12月7日(金) 10:00 予算決算常任委員会
- 12月14日(金) 10:00 一般質問
- 12月17日(月) 10:00 一般質問 (予備日)
- 12月18日(火) 13:00 各委員会  
(予算決算・総務建設・教育民生)
- 13:45 全員協議会
- 15:15 定例会議 最終日  
〔委員長報告・質疑・討論・採決〕

ぜひ傍聴にお越しください。定例会議はケーブルテレビ「なかのとチャンネル」で中継します。

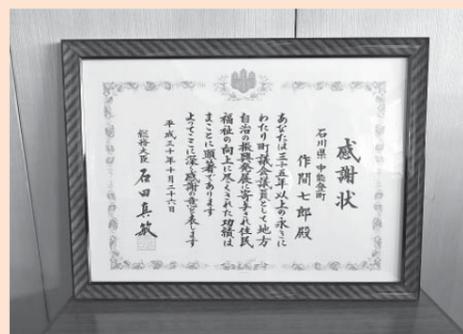


## 総務大臣感謝状贈呈

永年地方議会議員として地方自治行政に貢献された作間議員に贈呈されました。  
10月26日に贈呈式が東京で行われました。

町議会議員として通算35年以上在職議員

作間 七郎 議員 (福田)



## 町村議会広報研修会

報告者：古玉いづみ 期間：平成30年10月9日  
場所：シェーンバッハ・サボー (東京)



主語と述語をしっかりと対応させる。日本語が理解できれば出来て「当たりまえ」のこと。しかし文章を書くときに本当に正しくおこなえているのだろうか。改めて文章の書き方一つで、読み手への伝わり方が変わることを実感した。

国際化・多様化の進む中でビジュアルを使った表現がより効果的・即効性のあることも実際のワークショップで体感した。また、全国広報コンクール受賞団体の企画・編集からの新たな発見もあった。

この研修を生かして今後はより住民に寄り添った、議会の役割が伝わりやすい、読みたい!と思っただけの議会広報誌を目指していきたい。

## レポート提出します

9月定例会議議員派遣

報告者：林 真弥  
期間：平成30年10月4から5日  
場所：全国市町村国際文化研修所 滋賀県大津市  
テーマ：①地球温暖化防止や災害防止等と森林の適正管理との関連について学ぶ  
②森林環境税や森林経営管理制度等の国の施策について理解を深める

「森林」と聞いてどのようなことを思い浮かべるでしょうか。我々が住む日本という国は国土の約70%が森林に覆われていることを考えると、都市部で生活されている方々以外は、「身近にあって当たりまえ」の存在と言えるでしょう。その「当たりまえ」の日本の森林が弱体化していることに、危機感を抱くのは私だけではありません。その結果、有害鳥獣の居住拡大による農作物被害や保水力低下による豪雨での流木災害等々が多発し、日本国民の生活を脅かすようになりました。これまでの森林は主として所有者と森林組合が管理してきましたが、その弱体化に歯止めをかけるため、来年度から「森林環境税」という新たな税を徴収し自治体が一括管理できるようになります。そしてその先には林業の復権による雇用の創出と環境保全を目指すとしており、今後の「森林環境税」の予算配分等に注視してまいります。

# 議会活動報告 8月から10月までの議会活動

○…出席 ×…欠席 △…早退・遅刻  
―…委員外 公…公務  
オ…議長が各委員会にオブザーバーで出席するとき



さまざまな会議の議員の出欠状況をお知らせします。

月 日	会議名	古玉いづみ	尾田良一	土本稔	林真弥	中川秀平	笹川広美	南昭榮	諏訪良一	宮下為幸	甲部昭夫	坂井幸雄	作間七郎
8月9日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	―	―	オ	―	―	―
8月10日	議会運営委員会	―	―	―	○	○	―	―	―	オ	○	○	○
8月13日	総務建設常任委員会	―	―	○	―	―	○	―	○	○	―	○	○
8月13日	教育民生常任委員会	○	○	―	○	○	―	○	―	―	○	―	―
8月22日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月27日	議会運営委員会	―	―	―	○	○	―	―	―	オ	○	○	○
9月3日	全員協議会	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月5日	教育民生常任委員会	○	○	―	○	○	―	○	―	オ	○	―	―
9月5日	総務建設常任委員会	―	―	○	―	―	○	―	○	○	―	○	○
9月6日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	△	○	オ	○	○	○
9月11日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
9月12日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
9月13日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
9月14日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○	○
9月20日	教育民生常任委員会	○	○	―	○	○	―	○	―	―	○	―	―
9月25日	議会運営委員会	―	―	―	○	○	―	―	―	オ	○	○	○
9月25日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
9月25日	教育民生常任委員会	○	○	―	○	○	―	○	―	―	○	―	―
9月25日	総務建設常任委員会	―	―	○	―	―	○	―	○	○	―	○	○
9月27日	庁舎統合建設特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
9月28日	議会行革・活性化特別委員会	○	○	○	○	△	○	×	○	オ	○	○	○
10月3日	議会広報特別委員会	○	○	×	○	○	○	―	―	オ	―	―	―
10月16日	教育民生常任委員会	○	○	―	○	○	―	○	―	オ	○	―	―
10月16日	総務建設常任委員会	―	―	○	―	―	○	―	○	○	―	○	○
10月23日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 第12回 紀宝みなとフェスティバル

10月21日

参加議員 宮下議長 作間議員

10月21日に中能登町と姉妹町である三重県紀宝町において、第12回紀宝みなとフェスティバルが開催されました。当日は晴天に恵まれ、会場内の物産販売コーナーでは、道の駅 織姫の里なかのとや崇神・遊の会などが出店され、中能登町内の特産品の販売など、町のPRを行いました。

また、郷土芸能ステージでは、中能登町の兼生喜美代会による民謡舞踊が披露され、紀宝町の各種団体との交流を行いました。

今後も紀宝町と各種分野での交流を行い、両町の発展を推進していきたいと思っております。(報告者 議長 宮下為幸)





# — 家族の声 —

中能登町小竹にお住まい  
谷口さんご一家



**質問 1、中能登町のどんなところに  
愛着を感じますか。**

自然豊かで住みやすい。

**質問 2、他の市町村（七尾や羽咋など）  
とくらべどこがよいと思われますか。**

交通網や商業施設が充実している。

**質問 3、暇ができれば行きたい外国の国はどこですか。**

南極で砂漠をみて、温泉に入りたい。

**質問 4、核家族化が進む中、昔の3世代同居家族の良さは。**

会話が広がる。パソコンを孫から学べる。

**質問 5、中能登町は将来どんな街になればよいでしょうか。**

世代交流のある町。

**質問 6、現在の教育状況（例えばいじめ、不登校など）をどう思いますか。**

一人一人に合った教育がなされる教育指針が必要。

**質問 7、どうすれば中能登へ人が集まってくると思いますか。**

今ある環境を提示し、それに合ったコーディネーターを育て、町全体で取り組む。



## 【議会広報特別委員会】

委員長	林 真弥
副委員長	古玉いづみ
委員	笹川 広美
	土本 稔
	尾田 良一
	中川 秀平

## 編集後記

中能登中学校の学校祭に行ってきました。青少年のエネルギーに圧倒されながらもこれまでのがんばりを思い、胸が熱くなりました。特筆すべきは、一枚一枚手作業で仕上げた巨大なモザイク画とその前で演舞されたYOSAKOIソーランの壮大さです。町の未来である子どもたちからたくさんパワーを貰い、より多くの町民の皆さんに手に取っていただける「とびら」を目指していきます。

議会広報特別委員会 副委員長古玉いづみ



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています  
E3PA：環境保護印刷推進協議会